

1. 園の教育目標

- ①明るく ②心ゆたかに ③たくましく

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ◎育児担当制を通しての個々の育ちの把握と生活習慣の自立の援助
- ◎乳児の発達の理解と発達に応じた環境作り
- ◎わらべうた、運動遊びの習慣化
- ◎保護者に伝わる発信方法への取り組み
- ◎年間計画に沿っての訓練を行い、安全・防犯についての知識を深める

【3】の評価結果の表示方法
A 十分達成されている
B 達成されている
C 取り組まれているが、成果が十分でない
D 取り組みが不十分である

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果					理由
	A	B	C	D	計	
◎育児担当制を通して個々の育ちを把握し、それに適した援助ができたか ・担当制を通して愛着を形成し、情緒の安定を図る。 ・日課をたてて毎日繰り返すことで、子ども自身が日課に参加し、見通しを持って生活するようになる。 ・1人1人の成長に応じて丁寧に生活習慣の援助を行う。	2	6	0	0	8	・子どもとの愛着形成は十分にできたと思う。 ・一人一人丁寧に関わることができた事で子ども達が生活の見通しを持ち、主体的に行動する姿が多かった。 ・育児担当制を行うにあたって、やり方にとられすぎている部分があった。
◎乳児の発達に応じた環境作りができたか ・玩具リストを作成し、0～2歳児のどの時期にどの玩具が適しているのかを明確化する。 ・季節や育ちに応じて、定期的に環境を考える。 ・子どもの育ちや発見などを観察し、それに適した環境を保育者同士で話し合い、用意する。	1	4	3	0	8	・月案や週案の話し合いの中で発達段階に合わせて玩具を増やすなど環境を整えていた。 ・玩具リストの作成ができなかった。
◎わらべうた・運動遊びを習慣化する ・計画を立てて定期的に取り組むようにする ・発達や体力向上を意識した取り組みをする	1	3	4	0	8	・わらべうたを取り入れていたが、計画性には欠けていた。 ・2歳児クラスでは定期的に行われていたが、0、1歳児クラスでは、計画を立てるまではいかなかった。 ・発達に合った運動が出来るように環境を整えてきた。
◎保護者に伝わる発信が積極的にできたか ・保護者に伝わる発信を積極的かつ専門的に行うようにしていく。 ・この活動(遊び)によって何が育つかなどを伝える。 ・保育士一人ひとりが子どもの成長発達過程を頭に入れ、それを意識した伝え方を心がける。 (ただの出来事の報告にならないよう) ・ドキュメンテーションなどで子どもの成長を可視化していく。	1	4	3	0	8	・掲示板やHPなどで子ども達の様子を発信していくことができた。 ・連絡帳や送迎時、懇談などで子ども達の今の姿や育ちに必要なこと、遊びの意図を伝えることができた。 ・ドキュメンテーションは取り組みが不十分だった。
◎安全・防犯・防災について計画に沿った訓練を行い、さらに知識を得ることができたか ・防犯グッズの定期的確認、状況に応じた連絡方法と保護者への連絡の仕方などのマニュアルの共通理解	2	6	0	0	8	・定期的に訓練を行い、災害時、緊急時の動きの確認ができた。 ・防犯グッズ、避難袋の定期的な確認ができていなかった。

4. 今後取り組むべき課題

課題	考えられる具体的な取り組み
・日課について ・育児担当制のやり方の見直しをする	・3クラスでの話し合いの機会を多く持ち、無理のない子ども達にとって1番良い日課を立てる。
・環境作り	・玩具リストの作成を行う。 ・年間を通して発達段階に応じた室内環境の配置を図面化して職員全体で検討する機会を設ける。
・わらべうたを習慣化する	・CDを活用したり、遊び方の資料を作成するなど、保育者全員ができるようにしていく。
・0,1歳児の運動遊びの取り入れ方	・体育指導講師の助言のもと日課を変えることなく取り組めるよう計画する。
・防犯グッズ、連絡方法のマニュアルについて	・防犯グッズは定期的にチェックをし、必要に応じて買い替える。 ・保護者への連絡方法など、共通理解を持てるよう定期的に確認する。また、すぐに見ることが出来る所に置いておく。
・手作りの玩具を増やす	